

新規抗癌剤候補CBP501・CBS9106を創出した創薬技術

マッチングの要望

希望マッチング先

・製薬企業または抗癌剤領域への進出を検討している企業

マッチングメリット

・抗癌剤創薬シードの継続供給、少人数による抗癌剤研究開発体制の供給が可能。

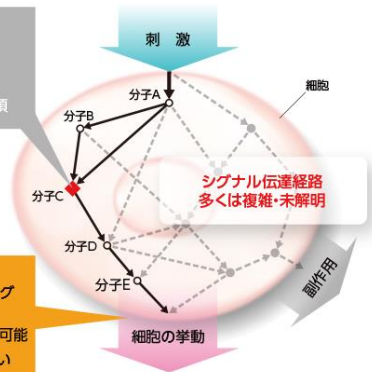
開発したのはこんな技術です

- ・当社は、**独自のコンセプトに基づく化合物スクリーニングが可能**であるとともに、**複数の臨床パイプラインを並行して稼働**させることができる、高い創薬技術を有している。
- ・当社は創薬企業として、製薬バリューチェーンの上流に位置し、新規候補化合物の探索創出から早期臨床試験段階を担っている。

これまでの導入実績は？

- ・2014年12月 CBS9106を米国Stemline社へライセンス導出、技術アドバイザーフィー等を受領中

一般的創薬アプローチ
ハイスループットスクリーニング
特定標的分子に対する化合物の活性を
大量・高速に分析
単一または少数の標的分子の特定が必須



キャンパスの創薬アプローチ
生細胞の挙動を基準とするスクリーニング
標的分子特定不要
シグナル伝達経路が複雑・未知でも対応可能
弱点:手作業、ハイスループット化できない

★ おすすめのポイント

- ・当社のコア技術は以下の通りとなる。
 - ① 「候補化合物スクリーニング」
生細胞の挙動に着目した独自のスクリーニング法となる。
これにより、未知の標的分子に作用するものを含む薬剤候補化合物のスクリーニングが可能となると同時に、臨床試験の段階において、細胞に対する安全性の点で臨床試験が頓挫する可能性を低く抑えることが可能となる。
この技術により自社で探索し、最適化を進めた結果、複数の化合物（CBP501・CBS9106）が創出・獲得でき、現在臨床開発段階に進んでおり、いずれも十分な安全性を示すとともに薬効の兆候を示している。
 - ② 「中分子化合物設計最適化」
中分子（短いペプチド）化合物の最適化に強みを持つ。
 - ③ 「早期臨床開発」
少人数体制ながら有力な科学顧問団を擁し、適切なCRO等への外注をコントロールして過去複数の米国臨床試験（前臨床試験、FDAへの新薬治験申請、臨床試験実施）の実績を有する。

🏢 この技術を開発したのは…

企業名

株式会社キャンパス

所在地

静岡県沼津市

資本金

4,171百万円

設立

2000年1月

従業員数

13名

「技術お問い合わせフォーム」はこちら

<https://www.yano.co.jp/contact/contact.php/consulting>